

Freude

vol. 15-19, 2022. 7. 27. wed

チケット	S698	A 76	B 40	計 814
7/6	206	12	25	243
7/13	29	0	2	31
申込計	235	12	27	274
残	463	64	13	540

大阪フロイデ合唱団、続きます！みんな、よろしくねっ！

チラシを
活用しよう！
置いて
置くよ！

アドレスのある方には速報でお伝えしたように、

7/6号ニュース掲載案（演奏会スタイルは変えず一年に一回の開催、モロモロ節約しつつ団費 6000 円、ただし本番前や会場変更等で支出超過した場合は別途「本番前練習費」として集める場合あり、など）に対して、7/13 回収では、団員 44 名中 40 名提出。

・提案賛同で継続: 38 名 ・賛同だが転勤の可能性で参加が「？」: 1 名 ・賛同できず不参加: 1 名

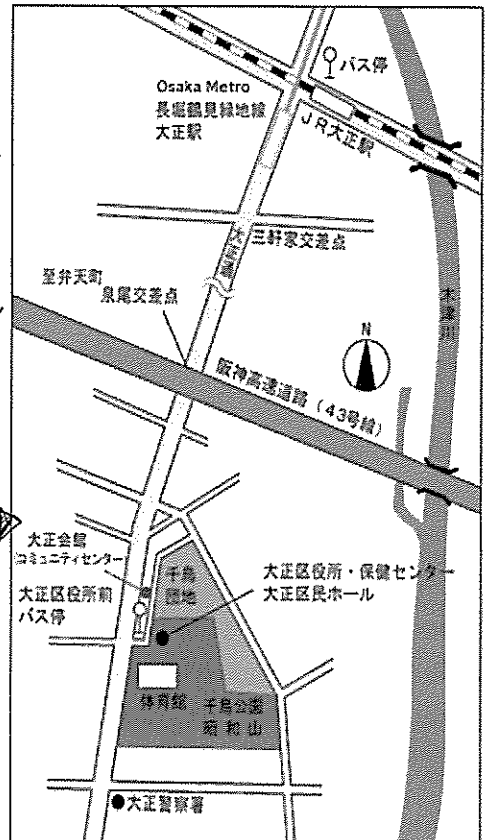
ただし、この不参加回答の方から「いろいろ考えると不安になったので不参加にした。ただ、合唱団が続くならこの提案で参加したい」とのコメントもいただきました。合唱団、続きますよ！がんばろー！

次の演奏会の具体案は、これからの検討です。決まったら、即！団員募集にとりかからないとね！

2月の演奏会にはたくさんの方がカンパしていただきましたので、会計報告をすべし、でしたが、こんごの方針が決まらなると説明も中途半端になるため、報告できていませんでした、今回、方針が決まったので、カンパして下さった方々と待機メンバーの方に、報告書を送りました。次ページ以降はその内容です。（説明は簡略化しています。

例えば、今回の演奏会ショートの際の協力金ですが、新人・復帰を除く、等までは書いていないです)

さて、みなさんをお願いしたいのは「大阪フロイデの売り文句！」
いままで「演奏会協力金はありません」も一つの売りでしたが、これがなくなっちゃいました。これから募集チラシをつくるにあたり、売り、をどう打ち出すか何かアイデアありませんか？もちろん、演奏曲目が決まったら、まずは、それが魅力の一つ。それに、指導体制ももちろん売りですが、ご自身が何に魅かれて、ここに来てくれたのか、ぜひ教えてください。長年在籍していると、そのへんアタマがまわりません。よろしくねっ！



7/31(日) 13:15 ~ 大正会館
JR「大正駅」より徒歩2分「大正区役所前」
市バスは「大正馬場」から鶴島町4丁目行き、
西船場町行き、地下鉄住之江公園まで
8/3(水), 10(木), 17(水), 24(水), 31(水)
18:30 市川教会にて

- ・2022年2月の大阪フロイデ合唱団演奏会にカンパご協力いただいたみなさま
- ・団に在籍（或いは一時休団）で、今現在はコロナ禍で練習参加できていないみなさま

2022年2月16日演奏会の会計報告 及び今後の方針

みなさま。大阪フロイデ合唱団団長 吉田泉です。平素はたいへんお世話になり、エールを送っていただきありがとうございます。また、昨年は、私どもの演奏会のために、あたたかいカンパをありがとうございました。たいへん遅くなりましたが、前回の演奏会会計と、こんごの活動方針についてご報告申し上げます。

1) 2022年2月16日演奏会は、結果的には84万円の赤字となりました。（裏面・会計報告書）

練習開始 2020年11月。コロナ禍で練習不可能が続き、演奏会日程を2021年9月から2022年2月に延期（2021年7月）。この時点での日常経費赤字が既に50万円に上っていて団貯金残高140万円しか残っていなかった。こんごも団活動を続けていくためには、これ以上団貯金からの赤字補填は難しいため、この時点以降での赤字予想250万円分についてカンパ呼びかけ。9月時点でカンパ目標達成。

このときコロナは落ち着いており、少なくとも演奏会終了後の赤字額は7月時点での50万円までにとどまるはずでした。ところが、チケット拡大時にオミクロン株の猛威、チケット販売が赤字額計算時の予想販売席数より更にショート。結果的に赤字を増やしてしまうこととなりました。カンパいただいたのに、申し訳ありませんでした。

ただ、赤字にはなりましたが、演奏会経費を滞りなく支払え、また赤字分を補填しても多少の銀行残高（110万円ほど）を残すことができたのは、みなさまのカンパのおかげです。ありがとうございました。感謝申し上げます。

2) 10月20日演奏会については、貯金残高の投入と、団員による協力金でショート分をまかないます。

練習経費必要人数70名のところ、現団員44名で、日常赤字が出ている状況を変えることができていません。そのため、今回の演奏会については次の通り対策していくこととしました。（参加団員アンケートによって決定）

- ①日常経費の赤については、団貯金をゼロまで投入して対応する。（計算上は可能）
- ②演奏会については、今年制定された「大阪文化芸術創出事業活動支援補助金」（最高額で50万円）を申請し足しにする。チケット価格について、前売価格をやめて、当日価格に統一する（これまでに比べて実質500円アップ）本番前半月の時点でのチケット販売数を見て、ショートの予想の場合は、参加団員※より演奏会協力金を集める。これにより、なんとか、今回の演奏会も実施できると考えています。

3) こんごについて。練習日程のみなおし、団費1000円アップ、演奏会を1年に1回の開催とします。

10月20日演奏会で貯金を全て投入すること。また「団員数40名前後はコロナ禍の一時的なもので、早晚、もとの人数に復活する」という頭から全面的に切り替える必要を認めざるを得ない。という状況に直面し、団のありかた、演奏会の形、練習形態、団費などについて、検討しなすことを致しました。

たとえば、今現在の練習を団員数40名で、となると、団費は8000～9000円という計算になってしまいます。これは、何かを変えないと市民合唱団としての継続は困難である、解団もやむを得ない、という中、現在の参加団員に何度もアンケートを取って、何をどう変えていくか、変えてもヨシとするか、などなど、意見を募りました、その結果をふまえて指揮者・亀井正比古先生に案を検討していただきました。その案に対して再度、団員アンケートを取りました。その結果、導き出したのが、以下のかたちです。

●演奏会について

今まで通り、プロのオーケストラ、プロのソリストとともに、住友生命いずみホールで、最高の演奏を目指して、演奏会活動を続ける。ただし、演奏会の開催頻度を1年に1回とする。

●練習について

①練習は基本的に日曜練習ナシ。毎週水曜日。川口教会を定常的に使わせていただく。

②指導は基本的に二人体制（亀井先生と、「分かれて練習は田中先生」「合わせて練習は真壁先生」）

※ただし、本番近くは、音楽を作るうえで必要に応じて、日曜練習を実施したり、先生3人のご出席をお願いすることがある。また、川口教会を使えないときは区民センター使用となる。

①②の練習形態をベースとして、団費を現在の5000円/月から、6000円/月とする。

（団費6000円での経費成立団員数は39名）上記※印の場合、本番前練習費を集めることがあります。ちなみに、川口基督教会は、区民センターに比べて使用料が1/3で済みます。ただ、コロナ禍で使用許可が下りるかどうかは、信者さんでの月例役員会によるため、状況によっては使用不可となる場合もゼロではありません。現在のところ、水曜日は定常的に使わせてもらえることになっています。

また、今回、南森町の事務所を畳むこととしました。7月末で事務所を解約します。今後は、団長宅が拠点住所となります。また電話は団携帯のみ、とします。こんご一年間は現在の団事務所宛の郵便物は団長に転送される手続きをしましたので、当面は団事務所住所の載った封筒を使用します。

こんごの検討に入った当初は、いろいろな意見が飛び交い、解団も覚悟しましたが、最終的には、亀井正比古先生、田中由也先生、真壁泰江先生のご指導のもと、オーケストラとの音楽をいずみホールのステージに載せることを続けたい、という気持ちでまとめることができました。練習形態も、川口教会を使い続けることができれば、今とそう変わらないカタチで維持できそうです。また、これまでと大きな違いは「本番前で日曜練習等追加の場合は、別途本番前練習費を集める」としたこと。団員に実費負担をお願いすることになりますが、練習経費の赤字収支を回避したいと考えます。40名を少しでも超える団員が集まってくれば、その分、本番前の追加練習分についても、練習費を集めなくて済むことにもできます。なんとか、歌う仲間を集めていきたいと念じています。

あとは、演奏会収支ですが、これは、やはり基本的には、いい演奏の準備をして自信をもってチケットを広めることでペイしていく、ということとなります。これも、団員が増えれば、チケットを広めるベースも広がります。

ギリギリの綱渡りの感がありますが、うたいたい気持ちを、次につなげたいです。

そのためにも、まずは、10月20日の演奏会！ いっぱいのお客様に聴いていただけるように。

10月20日演奏会のチラシを同封しております。ぜひ、お聴きください。

また、この次の演奏会については、現在具体化検討中です。演奏会予定が決まりましたら、またご案内します。募集チラシでは、これまでと団費の考え方など変わりますので、合唱団の魅力の伝え方を再検討する必要があり、考えているところです。

コロナ禍は今後も続きそうですが「万全の注意を払ったうえで、活動を続ける」という方向に、世の中も動いています。みなさま、ぜひ、力を貸してください。一緒にまた歌いましょう。なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

2022年7月22日 大阪フロイデ合唱団 団長 吉田泉

吉田泉 TEL.090-9860-8234 E-mail. izumi-y@mpd.biglobe.ne.jp

※合唱団拠点 新住所：〒560-0012 大阪府豊中市上野坂1-14-21 吉田方 大阪フロイデ合唱団

※下記は、カンパ協力者&待機団員への報告。収入で「カンパ」を別項目とし、カンパ額を見え易くしています。

【2021年度モーツァルト&ハイドン報告書】

2022.2.16@いずみホール

1 収支報告

1) 一般団会計収支

・収入 5,577,711円 ・支出 5,256,485円 ・差引 321,226円

2) 演奏会会計収支

・収入 1,696,596円 ・支出 2,855,535円 ・差引 -1,158,939円 (赤字)

3) 実質差額

-837,713円 (赤字)

2 明細報告

1) 一般団会計収支

団会計収支(2020/11~2022/2)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
団費	2,681,000	指導者謝礼&練習会場費	4,772,900
カンパ	2,516,200	パソコン管理・プロバイダー料	38,894
楽譜売上	321,000	電話・ゼロックス	104,454
CD売上	59,480	文具/コピー紙/カンプリ	9,912
雑収入(利息等)	31	交通費(荷物運び車代等)	600
		楽譜仕入れ代金	321,255
		その他(雑費、振込手数料、保険料)	8,470
収入計	5,577,711	支出計	5,256,485
		差引	321,226

・売上楽譜と仕入楽譜は同じ楽曲とは限らない

2) 演奏会会計収支

2022.2.16@いずみホール

(単位:円)

収入の部		支出の部	
チケット売上	1,551,196	出演料	1,680,854
ステージ写真	45,400	いずみホール	734,789
大阪市助成金・雑収入	100,000	チケット・チラシ印刷代	135,850
		プログラム印刷代	107,800
		ゲネ・本番等謝礼	145,000
		写真代	43,780
		雑費(振込手数料等)	7,462
収入計	1,696,596	支出計	2,855,535
		差引	-1,158,939

・出演料は、指揮者・ソリスト歌手・オーケストラの出演料一切を含む

2022年 5月 4日

大阪フロイデ合唱団 会計担当 辻井 潤

2022年 5月 8日

通帳、領収書など関係書類を確認した結果、適正に処理されていたのでここに報告します。

大阪フロイデ合唱団 会計監査 山下 芳郎